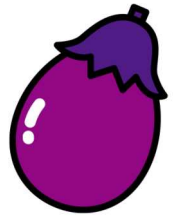


学校と社会をつなぐための…

私たちのアクションプラン!!

ナスビの学校



私たちからの「約束」です

夏休みに入る前日、私たち職員はプレイルームに集まりました。5月の分散型学習から始まった今学期をふりかえるための話し合いです。テーブルの上には、グラフがたくさん載った資料がありました。それらのグラフは、生徒のみなさんの自己評価を集約したものです。

宮大附属中では、3か月を目安に、学校生活全体の振り返りをしています。学校生活を通して高めたい7つの力(やりぬく力・みとおす力・ふりかえる力・やくだてる力・つくりだす力・ともにある力・こたえる力)がどれくらい高まったのかを自己評価し、自分の成長を確認する取組です。

となりです。話し合いでは、まず「学校と社会をつないでいくための学びを実現していくこと」が私たちの仕事であることを確認しました。


次に、生徒のみなさんの自己評価データをじっくりと読み込みました。そのうえで、①学年チームによる話し合い、②校務チーム(宮大附属中には教務部・研究部・生徒指導部・保健安全部という4つのチームがあります)による話し合いを行います。ここでは「どうして数値が高くなっているのか」「どうして思ったほど数値が高くなっていないのか」等、データの裏にある事実を探っていきました。

そして最後に、私たちはプレイルームを後にし、各自の研究室に戻り、パソコンの前に座りました。そして、「これからの3か月、自分は何をがんばるのか」をアクションプランというカタチで表現しました。アクションプランは、大きく3つの項目からできています。それは「教科」「学年・学級」「校務」です。3つの目標を立て、それを行動に移していくことで、7つの力をさらに高めていくためのサポートをしたいと思っています。

私たちがつくったアクションプランは、私たち自身に向けたものであると同時に、生徒のみなさんへの「約束」でもあります。せっかく「約束」するので、できるだけ多くの人の目に触れるようにしたい。そう思っているようにしたい。そう思っている、技術室前の掲示板には、すべての先生たちのアクションプランが掲示してあります。ぜひ見てみてください。

私たちはよく生徒のみなさんに「目標を立てましょう」と言います。また「振り返りましょう」とも言います。目標を立てて実行してみ、振り返ることで改善していく。まずは私たち自身がそれを実行していきたいと思っています。私たちの挑戦をごらんください。

誰のアクションプラン?



?????

??科

私は授業の始まりに、あなたのワクワクスイッチを押します!またはスイッチを隠しています。自分で探して、押してみよう!

?年生

私は「こうしたいなあ、こうなったらいいなあ」を言葉にします!自分だけでなく、生徒も巻き込んで妄想したり、実現を図ったりします!

???

私は目的に沿った方法を提案します。そしてこっそり私自身が楽しめるように仕向けます!

このアクションプランをつくったのは誰でしょうか。この先生は、自分が担当している教科の授業を通してみなさんのなかに隠れている「ワクワクスイッチ」を押すことをねらっているようです。この先生の授業には、たくさんさんのワクワクスイッチが仕掛けられています。「なるほど、そういう切り口で物事を見るのか」

「なるほど、こうやって表現するとおもしろくなるのか」などなど、楽しめるスイッチが満載です。

また「こうしたいなあ、こうなったらいいなあ」を言葉にして、みんなを巻き込みながら「妄想」したり、実現を目指したりするようです。確かに、よく耳にします。「こういうの、いいっ

すよねおもしろそうっすよね!」「なんかこういうのワクワクしません?」「やれたらいいっすよね」「これはワクワクしますよ」「これこそまさにアートのすよ」

自分が思ったこと(思いついたこと)を言葉にしていろいろの人に伝える。そうすることで、いろいろなところでひらめき(インスピレーション)が起こって、おもしろいこと・ワクワクすることが実現する。とても魅力的なアクションプランです。

そして生徒のみなさんが楽しむことはもちろん、この先生自身も楽しむことを忘れないというスタンスを表明しています。「自分が楽しみにできる(楽しめる)企画でなければ、生徒たちも楽しめない」という理念がここには見られます。

このアクションプランを作った先生は誰なのか。ぜひ、技術室前に足を運んで確かめてみてください。また技術室前には、アクションプランと合わせて、「未来」や「探究」「対話」を考えるためのコツがまとめられたカードも掲示しています。